



今月のホット情報

使い勝手の良さを追求し作業効率アップ

Uポールで収納機能をプラスした作業台

(株)シロクマはアルミ構造材「Uポール」を使用して、使い勝手の良さを追求した工場や倉庫の備品を製作しています。現場に合わせてひと工夫することが、日々の作業効率のアップにつながります。

写真①の作業台はUポールのフレームに天板を載せ、「UW-10 ABS発泡板」をサイドや引き出しのパネルとして、組み合わせたもの。「UW-10」は軽量で加工性、耐水性に優れた素材です。UV印刷も可能。切断した時の切り口も同色です。

天面下の一部にはエアパッキンをセット、「UH-600 ラチェットヒンジ」でフレームを接続することで、エアパッキンのロールの脱着ができるように工夫しました。

写真②は別の作業台の一部である引き出し式のラックです。ラベルプリンターを設置した下にラベル紙をスッキリ収納できるので、交換がスムーズ。プリンター稼働時はラックをスライドさせて作業台の下に納められる(写真③)ので、邪魔になりません。

※製品情報の詳細は『No.20U Uポールカタログ』をご覧ください。



写真①



写真②



写真③

この部分は収納力の十分な引き出しになっています。

作業台からラックを引き出したところ

作業台にラックを納めたところ

フルカラーでリアルな光造形モデリング

弊社は2000年から3Dプリンターを導入して光造形モデリングを製品開発に取り入れ、ノウハウを蓄積しています。

樹脂系、金属系両方のモデリングを行っていますが、樹脂系ではシアン、マゼンダ、イエロー、ピュアホワイト、ベロブラックの5色を組み合わせることで、36万色以上を表現できる最新鋭の3Dプリンターを保有しています。

造形後の塗装なしでイメージしているカラーを実現させることができるので、リアルな質感を光造形だけで表現します。

硬質のアクリルライク、ABSライク、軟質のゴムライク(硬度:27、40、50、60、70、85、95の7種類)の造形が可能で、アクリルライクとゴムライクを組み合わせることもできます。

最大造形サイズは横490×縦390×高さ200mm。高性能の3Dプリンターによる試作は、どうぞ弊社にお任せください。

